



短 信 あ ぶ く ま

平成 29 年 3 月 14 日 (火) No.198
発行者：阿武隈小学校長 佐藤 安喜

懐かしいあの日は、昨日のことにように

▶「今思うと、すべてが宝物でした」。答辞の言葉が心に届き、卒業生の歌が涙を誘いました。須二中の卒業式。“Yesterday once more”の曲が流れる中、250名の卒業生が巣立っていきました。懐かしいあの日は、昨日のことにように。

▶たかが漢字、されど漢字

● 先週実施された県立高校の入学試験で、次のような問題が出題されました。

〈国語〉

■ 次の各文中の — 線をつけたカタカナの部分、漢字に直して書きなさい。

- (1) 山の新鮮な空気をスう。
- (2) 親戚の結婚式にマネかれた。
- (3) 父はウンユ業に携わり、毎日多くの荷物を配送している。
- (4) 世界チャンピオンとして、輝かしいセンセキを残してきた。

● 国語では、漢字の書き取りは必ず出題されて

います。しかも、今回出題されたものは、すべて小学校で学習する漢字でした。「スう→吸う(6年)、マネかれた→招かれた(5年)、ウンユ→運輸(3・5年)、センセキ→戦績(4・5年)」。

各教科とも、しあげの学習に取り組んでいます。漢字もその一つです。1年80字、2年160字、3年200字、4年200字、5年185字、6年181字。しっかり書いて、次の学年へ進もう。

● 親子で国語：今の学年で、一番思い出に残っていることをそれぞれあげてみましょう。

子：()
親：()



▶安全な登下校。(ショウジョウバカマの花言葉“希望”)